



■発行所／(株)びゅ〜すまいる編集舗・みまもりプレス編集部  
 ■2022年10月20日発行号 ■TEL.03-6807-8287 ■発行者・編集人／八木澤 晃 ■毎月第3木曜日発行

otta

<https://otta.co.jp/>

## 『登園バス見守り(置き去り防止) サービス』を今冬スタート

～IoT 端末で位置を自動記録——導入・運用負担の少ない仕組みを実現～

IoT テクノロジーを活用した児童・高齢者の見守りサービス基盤『ottaタウンセキュリティ』を運営する otta(福岡市博多区)では、児童向け見守りサービスで培ったノウハウを活用し、『登園バス見守りサービス』を今冬リリースする。本サービスは、見守り端末を持って登園することで、自動的に位置が記録されるため、毎日の操作が不要で手軽に運用することが可能となるというもの。

本サービスの概要によると、登園バスには一切の工事や機器設置はせずに、園児が持つ「見守り端末」と園舎に「見守りルーター」を設置するだけで、園児の位置を自動記録し、保育園・幼稚園のスタッフや保護者が位置を確認できるというしくみ。

ottaでは、本サービスの特徴として「園の担当者だけでなく、アプリで保護者も登園を確認できる」「子どもの位置を自動記録する仕組みなので人的

ミスが起きにくい」「サービスに必要な機器は『見守り端末』と『見守りルーター』だけなので、簡単に運用でき、導入運用コストが安い——」などを掲げている。

必要な機器と導入・運用費用については、「園児には、見守り端末を1人1個が必要となる」「保育園、幼稚園の建物には見守りルーターが最低1台、環境によっては複数台必要となる」「登園バスのドライバーは、専用アプリを

インストールしたスマホを所持する」「30人規模の保育園・幼稚園で導入費用10万円、月額1万円を想定」などが挙げられている。



◎お守り型の見守り端末



①登園バックなどに見守り端末を取り付けて登園するだけ



②バス移動中は、専用アプリでリアルタイム位置記録(1分単位)



③園の建物にあらかじめ見守りルーターを設置。建物に入ると位置記録&通知

## シニアが元気になると 日本が元気になる！

**元気シニア倶楽部  
会員募集中!!**

——入会費・年会費なし——

一般社団法人

**日本 S 元気シニア総研**

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿4-4-5 第3伊藤ビル4階  
tel.050-5533-3100 fax.03-5791-5859 Email. info@genkisenior.com

## 「アクティブシニア」 増加中

## みまもり電池『MaBeee』テクノロジーで、新たな機器サービス開発へ 「象印マホービン」との資本業務提携を発表：ノバルス

コネクティッドバッテリー『MaBeee (マビー／みまもり電池)』の企画・開発を行うノバルス（東京都千代田区）では、象印マホービン（大阪市北区）を引受先とする第三者割当増資を実施した。

象印マホービンは、2001年より、電気ポットを使用することで離れて暮らすご家族の生活をさりげなく見守る『みまもりほっとライン』サービスを20年以上続けている。今回の資本業務提携について、ノバルスでは「象印マホービンが『みまもりほっとライン』を

通じて20年超の間に培ってきた技術・ノウハウと、当社が『みまもり電池』を通じて保有する技術・ノウハウを組み合わせることでの協業メリットが期待できるものと考えております——」としている。

また、今後の展望として、両者の技術、ノウハウを組み合わせること、新たな商品・サービスの企画開発を迅速に展開するとし、具体的にはノバルスが推進する実証実験

を通じて、フレイル（虚弱）や認知機能低下の予兆検知・早期発見、改善のためのサービスを拡充、「健康で安心して暮らせる未病社会の実現を目指して参ります」とした。



<https://novars.jp>

## 新しい『キッズケータイ』——見守り防犯機能に加えてカメラも サイトアクセス、SNSへの投稿機能などは非搭載：京セラ／NTT ドコモ

京セラ（京都市伏見区）では、NTTドコモ向けの新製品として、『キッズケータイ KY-41C』を製品化。2023年2月以降よりドコモから販売される予定。

本機は、家族などのあらかじめ登録した相手とのみ、通話と「+メッセージ」でやり取りができたり、電話をかけても子どもが気づかない時は、保護者のスマホの専用アプリから遠隔操作をしてマナーモ

ードの解除ができたりするなど、「見守り・防犯機能」が充実しているのが特徴。

その他の見守り機能に、事前に登録した自宅のWi-Fiルーターのアクセスポイントを検索し、子どもの帰宅を保護者に通知する『おうちだよ通知』なども。

また新たに、ドコモキッズケータイでは初めて、

約500万画素のカメラをアウト／インそれぞれに搭載された。サイトへのアクセスやSNSへの投稿はできない。



<https://www.kyocera.co.jp/>

アイデアの**商品化**を推進する 発明事業化促進  
身近な**発明展**  
ヒント

特許料  
3億円!

アイデア  
募集中

特許料  
6千万円!

発明家たちの  
登竜門

企業の  
新製品  
開発に



小さな創造を社会に活かす  
一般社団法人 発明学会

<https://www.hatsumei.or.jp/>

## 情熱の発明商品・発掘プロジェクト 生活にやさしい『なるほどアイテム』を探せ

当コーナーでは、発明学会（東京都新宿区）のご協力をいただき「情熱の発明品」をご紹介します。子どもや高齢者、そして生活全般にやさしい「なるほどアイテム」をピックアップします！掲載された商品に興味のある方は下記までご一報ください。

### 第63回 『ジャイロ勢、救世主ジャイロコントローラー支持具

# 『ジャイロシューター』



「ただ息子の笑顔が見たい一心」  
それが発明の原動力に!!



クラウドファンディング挑戦予定 2022年10月28日~12月25日

ゲーム好きな息子さんお二人をお持ちの豊田学さん。息子さんが特に好きなゲームが、TPPゲームで人気のある「フォートナイト」「エーペックス」「スプラ

トゥーン」です。ゲームに熱中する息子さんを見ていて、プレー内容でコントローラーを持って保持する位置が違う事を発見しました。そんな息子さんとのや

り取りでジャイロ機能も把握した中、手元で安定して保持できる支持具があったらいいのでは？という発想がひらめきました。息子さんにそのアイデアを言った

ら「そんな支持具があったらいいなあ。絶対買うよ」と言う言葉に自信を持ち、発明したのが、TPPゲームで主に使用するジャイロコントローラー用の支持具「ジャイロシューター」です。

この支持具を使うと建築・編集操作及びエイムの向上が期待できバトルの勝率が上がります。

当初はただ息子さんの笑顔が見たい一心で作成した豊田さんですが、完成後の試作品を使って大声ではしゃいでる息子さんの姿を見て、この喜びを一人でも多くの方にお届け出来ればと思い、クラウドファンディングにチャレンジすることにしました。

元々はゲームとは無縁であった豊田さん。「今ではすっかりフォトナにハマっています。こんな私でもハマるのだから、ゲーム好きな方はもっと楽しめるのでは？と予想しています。このプロジェクト

を成功させ子供から大人まで一人でも多くの方に使用してもらいたいです！」と笑顔で語る豊田さんの視線の先には、ジャイロシューターを使って喜ぶ、全国の子供たちの笑顔がすでに見えているようです。

(松野泰明)

無料プレゼント! 発明ガイドブック

「発明ライフ入門」(希望者は下記まで)

(この商品のお問い合わせは)

一般社団法人 発明学会 発明アドバイザー 松野MP係 まで  
東京都新宿区余丁町7番1号 発明学会ビル  
☎ 03 (5366) 8811 y-matsuno@hatsumei.or.jp



# こちら『元気シニアビジネスアドバイザー!!!』

ブレン・モンジュ・林野均の「シニア`萬、遊記」第61回

## 平均寿命が縮んでいる？

厚生労働省が2021年の平均寿命を発表しましたが、それによると女性は前年を0.14歳下回り87.57歳、男性は0.09歳短くなって81.47歳になったそうです。

2011年の東日本大震災の時に短くなりましたが、それ以降9年連続で延びていました。平均寿命というのは、その年に生まれた子がその後平均して何年間生きられるかを予想した数字です。あくまでも予想です。今回平均寿命が縮んだのはコロナの影響が大きかったと言われていますが、コロナはある意味過去のことであり、平均寿命は未来のことなのでそこに個人的には矛盾を感じます。

これから生きていく人になんでコロナが影響するの？ということですが、それでも平均寿命は過去2番目に高い水準を保っています

し、国別で見ると女性は1985年から1位を続けており（2位は韓国の86.5歳）、男性はスイスの81.6歳、ノルウェーの81.59歳に次ぐ第3位です。このコラムが対象としているのはある程度年齢が高い方ですので、その年の平均寿命はあまり気にしなくていいと思います。気にするとしたらこれから何年生きられるかという平均余命のほうですね。平均寿命も平均余命も厚生労働省のホームページで「令和3年簡易生命表」を見ることができます。

ところで、今年の「老人の日」の9月15日時点での100歳以上の方は9万526人だそうで、初めて9万人を超えました（52年連続で過去最多を更新中です）。ちなみに、女性が8万161人で、約88.55%を占めました。

1963年には100歳以上の方は153人でしたので、いかに長生きする方が増えたか、ということですね。

さて、いままで統計的な数字をあげてきましたが、重要なのはそんな個性のない人数だけのデータではなく、それぞれの個人がこれからどう生きていくか、ということだと思います。自分がこれから何年生きられるのかも大事ですが、もっと大事なのはどんな生き方をしていくのか、そこに尽きると思います。それぞれ悔いのない人生を送っていききたいものです。



◎画像はイメージです。

Author / 林野 均 (はやしのひとし)

プランニング・ブレン・モンジュ代表 / 一般社団法人 日本元気シニア総研研究委員

『元気シニアビジネスアドバイザー』資格を取得後、元気シニア総研研究委員として、シニア向け商品やサービスの取材を「自らのシニア目線」で精力的に行なっている。

<https://planningbrain.com>



デイサービス生活相談員ネットワークの  
『生活相談員』講座

ちっちゃいマメをおっきく育て、  
夢のある未来を創造します。

株式会社スリービーンズ

<http://3beans.jp>

Let's enjoy your senior life

元気なシニアライフを  
応援します！

<https://planningbrain.com>

シニアのためのコンシェルジュ

プランニング・ブレン・モンジュ

tel.090-3682-3310